1. <施策の概要>

基本理念	未来をひらく文化と環境のまちづくり	統括課	教育部 生涯学習課
基本方針	生涯学習		
施策名	スポーツ活動	関連課	
方針・目標等	◆活発なスポーツ活動を行えるスポーツ振興の展開 ◆健康保持・増進・生きがいのため充実したスポーツライフを送る		
実施内容	◆NPO法人精華町体育協会との連携 ◆スポーツ施設の計画的な整備		

2. <指標の設定>

重点	指標名	単位	他団体比較 団体名/実績/年度		算式・引用等			
①	○ スポーツ施設利用者数	名	本津川市 1,136,465	21	生涯学習課調べ			
②	○ スポーツクラブ会員数	名	本津川市 3,717	21	生涯学習課調べ			
③	スポーツ事業等参加者数	名	本津川市 5,179	21	生涯学習課調べ			
④								
⑤								
			H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(試算)	H26(試算)
①	目標		179,000	181,000	183,000	184,000	184,000	185,000
	実績		179,806	181,785	185,000	174,363		
②	目標		2,400	2,500	2,600	2,700	2,800	2,900
	実績		2,535	2,772	2,888	2,872		
③	目標		13,000	17,500	18,500	18,600	18,600	18,600
	実績		16,060	13,397	13,854	12,085		
④	目標							
	実績							
⑤	目標							
	実績							

3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・スポーツ推進委員によるむくのきセンターアリーナの一般開放や子ども会等へのスポーツ指導、体育協会の各種事業、スポーツ教室の実施等により、利用件数は前年度を上回ったが利用者数としては減少した。
 ・各スポーツ施設の使用にあたり、登録団体の利便性の向上を目的に、日程調整会議を前・後期の年2回開催し、定期的な利用促進を図ることができた。

3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・各種スポーツ事業や教室の実施にあたっては、より一層、住民のニーズを把握していく必要がある。
 ・スポーツ振興の核となる高い資質を持った指導者の育成、発掘が課題である。
 ・町民が身近にスポーツに親しめるよう、総合型地域スポーツクラブの創設も念頭に置き、その基盤となる各小学校区単位の体育振興会の組織化、地域での指導者の発掘など、関係団体と連携を図りながら進めていく必要がある。

4-1. <施策を構成する事業>

重点	部門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
		H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(実績)	H25(予算)	H26(試算)
1	生涯学習課	3,341	3,954	2,905	3,656	7,933	7,933
	生涯スポーツ振興事業	2,117	2,380	2,353	2,400	6,677	6,677
	一般事業 251	1,687	2,072	1,955	1,925	6,677	6,677
2	生涯学習課	11,786	11,735	11,738	11,816	-	-
	体育協会助成事業	10,560	10,560	10,560	10,560	-	-
	一般事業 251	10,560	10,560	10,560	10,560	-	-
3	生涯学習課	25,501	30,968	35,215	35,883	-	-
	町立体育館維持管理	23,471	28,596	32,866	33,048	-	-
	一般事業 253	11,390	16,293	20,956	18,761	-	-
4	生涯学習課	1,604	1,565	1,370	1,688	1,656	1,656
	スポーツ推進委員会運営事業	784	789	818	826	794	794
	一般事業 249	784	789	818	826	794	794
5	生涯学習課	1,670	1,214	864	1,272	959	959
	社会体育運営事業	446	438	390	412	99	99
	一般事業 251	446	438	390	412	99	99
6	生涯学習課	11,489	6,621	4,358	4,493	-	-
	体育施設運営事務	9,861	5,446	3,572	3,632	-	-
	一般事業 251	9,861	5,446	3,572	3,632	-	-
7	生涯学習課	9,267	9,935	8,082	10,011	-	-
	体育施設維持管理事業	7,237	7,963	5,734	7,177	-	-
	一般事業 253	4,209	4,938	2,840	7,177	-	-
8	生涯学習課	1,869	1,747	2,422	1,751	2,039	2,039
	学校開放維持管理事業	1,049	971	855	890	1,178	1,178
	一般事業 253	1,049	971	855	890	0	0
9							
10							

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・各種スポーツ教室、NPO法人精華町体育協会との協働によるスポーツ事業を開催し、町民にスポーツ活動の機会を提供することができた。 ・スポーツ事業等の開催の情報提供(「広報誌『華創』」やホームページ掲載等)を積極的に進めたことで、施設利用の促進や事業の周知を図ることができた。 ・むくのきセンターの窓口業務をNPO法人精華町体育協会へ委託したことで、傘下の団体の施設に対する意識変化と、より質の高い住民サービスを実現することができた。 ・むくのきセンター及び体育施設の指定管理者として、NPO法人精華町体育協会を指定した。

5. <施策の今後の方向性>

・生涯スポーツ振興のため、住民ニーズに応じた各種事業となるよう、スポーツ推進委員会や関係団体等を通じてニーズの把握に努め、より地域に根ざした取り組みを進める。 ・また、日常生活のなかにスポーツを取り入れ、健康でいきいきとしたスポーツライフを実現するため、スポーツ事業等への参加を促す啓発活動に力を注ぐ。 ・競技スポーツの振興のため、NPO法人精華町体育協会等関係団体と連携して、各種スポーツ事業や教室を実施し、競技人口の拡大と、本町の競技スポーツの底上げを図る。 ・各種スポーツ事業を展開するうえで連携を図る関係機関などから、指導者を発掘していく。 ・スポーツ施設の整備、改修を計画的に進め、住民が快適に利用できる環境を整える。 ・むくのきセンター及び体育施設のよりよい管理運営を目指し、指定管理者であるNPO法人精華町体育協会とともに取り組みを進めていく。